

地域再生計画

1. 地域再生計画の名称

犬山からくり文化交流計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

犬山市

3. 地域再生計画の区域

犬山市の全域

4. 地域再生計画の目標

犬山市は名勝木曾川や緑豊かな丘陵の自然の中で、多くの歴史的、文化的資源を持つ都市として発展してきた。なかでも市の象徴である国宝犬山城を中心とした城下町地区は、犬山独自の文化を育むとともに文化や経済の拠点として発展し、近年は景観整備や歴史的、文化的資源を活かした特色あるまちづくりを進めているところである。

その犬山城の麓で毎年開催される犬山祭は、江戸時代から370余年続く祭で、国の重要無形民俗文化財にも指定されているが、この祭の主役である13輦の車山（やま）の全てにからくり人形が備えられ、祭の当日に披露される変化に富んだからくり人形の舞いは祭りの見所の一つであり、また、市民の生活の一部として、祭を通じて犬山のものづくりの伝統や犬山文化が継承されている証でもある。

そうした背景をふまえ、本計画では、子ども達を中心とする犬山市の地域住民が、伝統文化である「からくり人形」を、愛知県を中心とした我が国の先端技術の集積である「ロボット」と比して学ぶことで、現代的な視点を持ちながら地域文化の価値を再認識していくものである。さらには、これらの伝統文化を他地域に対し情報発信することを目的としたデジタルコンテンツを作成し、それらを活用した地域間の文化交流の促進、国内外の観光客誘致を行うことで、観光文化都市としての発展に寄与し、地域経済の活性化を進める。

指標

観光客の増加

市内観光施設等利用者数

平成7年：780万人 平成10年：約650万人

平成13年：約540万人

平成22年目標：600万人

犬山文化史料館来館者数

平成15年：39,766人

平成16年：82,692人

平成17年：102,713人

目標：100,000人

大手門まちづくり拠点施設（しみんてい）利用者数

平成14年：5,891人

平成15年：4,613人

平成16年：5,218人

目標：6,000人

余坂木戸口まちづくり拠点施設（余遊亭）利用者数

平成14年：5,677人

平成15年：5,904人

平成16年：5,941人

目標：7,000人

中本町拠点施設（どんでん館）利用者数

平成14年：20,653人

平成15年：20,390人

平成16年：16,162人

目標：22,000人

空き店舗利用数

平成13年：7店舗

平成14年：13店舗

平成15年：16店舗

平成16年：15店舗

目標：18店舗

犬山市ホームページアクセス数

平成17年：1億7,328万件

目標：2億件

5 . 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

NPO からくりロボット（特定非営利活動法人取得申請中）が、市の文化的象徴である犬山祭や江戸時代より技術が受け継がれている木製からくり人形と現代の対話型ロボットを主役に、デジタル技術を駆使した画像・映像収録、及びインターネットでの情報発信を前提としたソフトウェアコンテンツ制作をし、市内に限らず国内外に情報発信することにより新しいネットワークをつくる。

また、日本で江戸時代から唯一からくりを伝承されているからくり師 9 代玉屋庄兵衛のからくり人形の実演や講習会、からくりとロボットを題材としたこどもからくりコンテストなどの親と子供のふれあいの場を設け文化・地域間交流を行う。

からくり人形とロボットを題材にした「ものづくり」をテーマとした催しは、犬山の歴史のすばらしさを伝えるのと同時に対話型ロボットの啓発支援を行い、現代社会で問題とされているものづくりへの関心の低下を防ぎ、さらには新たなネットワークの創出とそこからの人材育成を目的とする。

平成18年度事業

ソフトコンテンツの作成

- ・ からくり人形の起源、国宝犬山城及び犬山城の歴史を中心とした資料作成
からくりと対話型ロボットを活用した温故知新プロジェクト（パート Ⅰ）
- ・ 玉屋庄兵衛のからくり実演、癒し対話型ロボットによる難病と闘う子供たちへの啓蒙支援フォーラム、犬山のからくり文化・歴史伝統文化の情報発信

唐子指南車（からこしなんしゃ）とからくり実演

- ・ 愛知万博長久手愛知県館で展示されていた、からくりと人形の動きの面白さや、最新技術と組み合わせさせた「唐子指南車（からこしなんしゃ）」が、犬山市文化史料館にて一般公開されるのに併せ、からくりの実演と、対話型ロボットの啓発を併せて行う

玉屋庄兵衛からくり実演及び関連講習会

- ・ ものづくりの原点からくり人形の仕組みや歴史を学ぶからくり人形の実演会講習会を開催する

こどもからくり道場

- ・ からくりの仕組みを学ぶ中で親と子供のふれあい
こども夢からくりコンテスト
- ・ 地元及び各地の子供から手作りからくり人形を募集して文化の交流を図る
からくりと対話型ロボットを活用した温故知新プロジェクト（パート Ⅱ）
- ・ 城下町秋まつり（犬山市）において、玉屋庄兵衛のからくり実演、癒し対話型ロボットによる難病と闘う子供たちへの啓蒙支援フォーラム、犬山のからくり文化・歴史伝統

文化の情報発信

からくりと対話型ロボットを活用した温故知新プロジェクト（パート ）

- ・難病患者の子どもに有効な会話ロボットを民間施設の高齢者に対し、利用調査を行う

平成19年度～平成20年度事業

他小中学校との文化歴史交流

- ・県外の小中学校に対し、デジタルコンテンツ・からくり人形を通じた地域間交流

平成20年度以降事業

ドイツとの文化交流

- ・からくり人形と西欧文化オートマタを架け橋とした文化交流
- 海外博物館でのからくり人形展示
- ・アメリカ合衆国スミソニアン博物館でのからくり人形の展示

5 - 2 法第4条の特例の措置を適用して行う事業

該当なし

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 基本方針に基づく支援措置による取り組み

「地域再生に資するNPO等の活動支援」(内閣府)C2001

「NPO からくりロボットによる地域活性化」事業

ものづくり日本の中心として位置付けられる当地域の活性化には、新たな技術革新と海外も含めた観光客増大が必要である。そのためには、ものづくりの原点であるからくり、国宝犬山城、国の重要無形民俗文化財となった犬山祭、これらの文化遺産を象徴とした新たな技術革新を積極的に情報発信することから始める必要がある。

NPO からくりロボットが主体となり、当地の象徴的な文化遺産でもある犬山祭や江戸時代の木製からくり人形と現代の対話型ロボットを主役に、デジタル技術を駆使した画像・映像収録及びインターネットでの情報発信を前提としたソフトウェアコンテンツを制作し、国内外への情報発信する事業を行う。NPO からくりロボットは、犬山市の“からくりとロボット”による地域活性化の事業を支援しながら、我が国の伝統的なものづくりの歴史、そして現代のロボット技術開発に至る東海地方の新たな価値創造・活性化や情報発信に寄与し、ものづくりの原点や日本文化を海外に情報発信する活動を行っていく。

この事業は今後、犬山市、地元企業及び大学等との協働体制ですること、この事業の促進を図ることが見込まれ、9代玉屋庄兵衛氏の全面協力のもと、からくり人形と現代ロボットの協働企画となるユニークな企画である。今回計画するデジタル技術を駆使したソフト資産は国内・海外を問わずインターネットでの情報発信も可能となるため、将来に向けてのソフト資産活用も期待できる。

また、江戸時代の木製ロボットがからくり人形であった歴史的な事実を、温故知新の精神に基づいて犬山から情報発信することにより、当地域のみならず産業立国日本をサポートする新たな価値創造や発見に寄与する。我が国の VISIT JAPAN 計画における観光客誘致の一役を担う効果も期待される。

今後は情報発信ソフト資産を有効に活用することにより、海外での観光都市犬山の広報促進に役立て、新たな地域活性化のためのプログラムを検討し、更に事業を多方面に拡大する予定である。

NPO からくりロボット・・・現在特定非営利活動法人取得申請中

5 - 3 - 2 独自の取り組み

木曾川夢空間事業

犬山市をはじめ4市1町で形成する日本ライン広域地区は、平成15年度「観光交流空間づくりモデル事業」のモデル地区に選定され、多くの人に喜ばれる「ふるさとづくり」を自分たちの手で進めるものとして、市民、NPO、民間、公共が協働して「木曾川夢空間事業」を進めている。当事業では、広域観光推進協議会が主体となって、各種モデル事業を具体化し、イベントの開催などを通じ情報発信をおこない、広域観光事業の推進を図っている。さらに、犬山市は、広域交流事業である木曾川 E ポート事業の開催や参加、フィルムコミッションの推進を通じ、広域市町村との連携交流を図るほか、市民に向けた国宝犬山城と城下町を中心とした歴史イベントを開催し、城を中心とした歴史や伝統文化を紹介し、郷土愛の育成を図るなど、市の内外を問わず伝統と文化の再認識と、それらを通じたネットワーク形成と将来の担い手となる人材育成に取り組んでいる。

犬山城下町再生計画

城下町地区では、犬山城や城下町の町並み、そこで培われてきた歴史・文化・伝統という地域の特性を生かし、「歩いて暮らせるまち 歩いて巡るまち」をコンセプトに自動車交通量を抑制した魅力ある町並みづくりの実現を目指す、具体的には城下町の空き店舗を活用した事業、道路美装化・電線類地中化などの町並み整備事業を行う。

観光健康さあ行こう！みんな来る！来る！サイクルタウンいぬやま計画

今井開拓パイロット地域で、自然を活用したマウンテンバイク大会や各種ツーリズム事業など都市と農山地域との交流施策を実施し、交流人口を増やし、地元住民や市内各施設との連携により地域の活性化を図る。

6 . 計画期間

地域再生計画認定の日から平成21年度まで

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

本計画をより効果的なものとするために、進捗状況、事業成果等について、機巧（からくり）ロボット（特定非営利活動法人取得申請中）、地元企業、庁内では企画調整課、観光交流課、文化財課で構成する評価委員会を設置し、一定期間ごとに事業の評価・検証を行う。

8. 地域再生の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

第4次犬山市総合計画において、犬山城を中心とした城下町地区は、町並みや歴史的景観を保持しながら、道路などの基盤整備、景観整備、観光型商業の振興等を通じて、安全で暮らしやすくおいしい賑わいのあるまちづくりを進める地域として位置付けている。

また、地域再生推進のためのプログラムに基づいた第1回地域再生計画において、城下町とその外縁部との連携により、城下町と市全域の経済活性化をねらった「犬山城下町再生計画」の認定を受けているところである。

本計画は、本市の将来へこれらの計画の遂行を推進し、我が国の VISIT JAPAN 計画における観光客誘致の一役を担う効果も期待されるものである。さらには、市民生活の中で「ものの豊かさ」よりも「こころの豊かさ」を求められる時代において、犬山市の特色を活かしたまちづくりを推し進めるものであり、行政の施策と流れを同じくする事業である。